

■山科精器株式会社

案件名称：「吸引凝固嘴管」

案件概要：今まで止血は、血液の吸引と電気凝固を別々の機器で行なっていたが、機能を一つの機器に集約し、術者が一人でできるようにしたもの

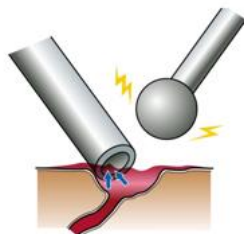
連携先：大阪大学、株式会社アムコ

これまでの経緯：2013年大阪大学 次世代内視鏡治療学共同研究部門 特任教授 中島清一氏が持つニーズをもとにコンソーシアム企業が開発し事業化。

事業化年度：2015年

-従来の止血法-

吸引とソフト凝固が同時にできないため、止血に時間がかかる。



-新しい止血法-

通電と吸引ができる凝固嘴管により、術者が吸引しながら同時にソフト凝固で止血可能。

